

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 1 日

事業名称		選挙常時啓発事業費 [明るい選挙啓発事務]						
予算科目	款 2	総務費	項 4	選挙費	目 2	選挙啓発費	事業番号 1	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	選挙管理委員会事務費 課		選挙 係		課長名		塚原 健彦	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書 (ページ)	122	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	選挙人名簿登録者(今後選挙人名簿に登録される者を含む。)			選挙人名簿登録者数(9月定時登録)				
	→							
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	政治と選挙に深い関心と高い意識を持つ。投票総参加ときれいな選挙を実現する。			投票率				
	→							
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	①選挙啓発広報紙「明るい選挙ひがしやまと」を発行した。 ②委員視察研修を実施したほか、外部の団体が主催する各種研修、講座等に積極的に参加した。 ③市内各小中学校から明るい選挙ポスターコンクールの作品について提出を依頼し、入選作品を東大和市役所1階ロビーで展示した。 ④成人式会場で選挙に関するアンケートを実施した。			①発行部数 ②視察研修参加人数(選管委員を含む。) ③一次審査対象作品点数 →④アンケート回収数				
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
			平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
対象指標	①の数値	回	71,251	71,201	71,039			
成果指標	②の数値	%	53.76 (東京都議会議員選挙)	-	48.09 (東大和市長選挙)			
目 標	②の目標値	%	-	-	-	100	100	
		目標値設定の考え方						
		投票総参加の実現を目指す。						
活動指標	③の数値		①5,500 ②22 ③26 ④188	①5,500 ②19 ③26 ④75	①6,000 ②18 ③38 ④56			
3 経費	事業費(実績)		円	320,896	363,621	365,756	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	320,896	363,621	365,756		
		特定財源	円	0	0	0		
		(うち受益者負担)	円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	8,267,000	8,244,000	8,310,000		
職員人件費(再任用)	円	0	0	0				
事業費+人件費		円	8,587,896	8,607,621	8,675,756			
4 環境変化等	(1) 開始年度	S26 年度						
	(2) 環境の変化	投票率が大きく低下しており、近年では、投票総参加ときれいな選挙の実現を目指し活動している。						

事業名称	選挙常時啓発事業費 [明るい選挙啓発事務]			
担当部署・課長名	選挙管理委員会事務局	課	選挙	係 課長名 塚原 健彦

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	近年、投票率が低下傾向にあり、特に20～30歳代の投票率が低く、より一層の選挙に関する啓発、周知等が求められている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：⑥		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	明るい選挙啓発事務を行っているが、結果として投票行動に結び付いていない。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	前年度同様、以下の事業を実施した。 ①広報紙の発行 ②委員視察研修等の実施 ③明るい選挙ポスターコンクールの実施 ④成人式会場におけるアンケートの実施			
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
投票率の低下は全国的な傾向であることから、引き続き、地道に明るい選挙啓発事務を継続していく必要があると考える。				
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現				
<input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 政治意識の高揚と投票率の向上を目指し、啓発物品の配布や将来の有権者である子どもたちへの啓発も重要になると考える。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				